

門真市第4期地域福祉計画 進捗状況シート

(令和4年度の取組状況)

目次

基本目標Ⅰ

地域福祉の
コミュニティづくり
(人づくり・地域づくり)

基本施策1 誰もが理解しあい支え合える意識づくり P2

〔市民が障がいについて理解する機会づくり／適切な福祉サービスを利用するためのさまざまな媒体を活用した情報発信〕

基本施策2 地域で活躍する人づくり P3

〔民生委員・児童委員の活動支援／公民連携子どもの居場所「子どもLOBBY」の提供／エリアリノベーションによる地元企業や地域住民など多様な人々が出会い交流できる場の創出〕

基本施策3 地域福祉活動の促進 P4-5

〔校区福祉委員による小地域ネットワーク活動の活動支援／認知症の方の生きがいある生活をめざす、「ゆめ伴プロジェクトin門真 実行委員会」との協働による活動の推進／高齢者の見守りネットワークの推進／コミュニティソーシャルワーカー(CSW)による地域課題の解決に向けた新たな活動の創出〕

基本施策4 組織横断的な支援体制の整備 P6

〔各分野において相談者の悩みを包括的に受け止め、適切な支援につなげる(子どもの未来応援チーム)・(地域包括支援センター)／既存サービスでは対応困難な課題を解決するため、新たなサービス・仕組みづくりを進めるためコミュニティソーシャルワーカー(CSW)が中心となり、関係機関と連携し取り組む〕

基本施策5 生きづらさを抱える人への支援 P7

〔相談者の自立に向けた伴走型の支援・就労に不安がある人に向けた社会参加やカウンセリングによる段階的な就労支援／更生の意欲をもつ犯罪をした人等の立ち直りを支援／さまざまな場面で悩みを抱える人の自殺のサインに気づき適切な支援につなぐ〕

基本施策6 権利擁護の推進 (門真市成年後見制度利用促進計画) P8

〔さまざまな人権課題の啓発／障がい者虐待に関する相談窓口の設置など、早期発見・早期解消・虐待再発防止の取組／社会福祉協議会の日常生活自立支援事業(金銭管理)の周知及び利用促進〕

基本施策7 災害時の安心・安全の仕組みづくり P9

〔防災訓練や防災講話などを通じた防災に関する意識向上、各種啓発／高齢者、障がい者などの支援が必要な人が円滑に避難するための方策の検討〕

基本施策8 すべての人にやさしいまちづくり P10

〔ICTを活用し、さまざまな行政サービスを気軽に受けられる環境の整備／空家等対策の推進／防犯に関する意識啓発、防犯カメラの設置〕

基本目標Ⅱ

包括的な
支援体制づくり

基本目標Ⅲ

安心・安全に地域で
生活できるまちづくり

基本目標 | 地域福祉のコミュニティづくり(人づくり・地域づくり)

基本施策1 誰もが理解しあい支え合える意識づくり P44-45

障がい福祉課

取組項目 / 身近な地域での福祉教育・福祉学習機会の拡充

取組内容 / 市民が障がいについて理解する機会づくり

■ 取組状況

障がい者週間ふれあいキャンペーンを12月3日～9日の障がい者週間に合わせて実施。

門真市役所別館玄関ロビー、市民プラザ、イオン古川橋駅前店の3カ所で障がい理解啓発物等(障がい者週間PRチラシ、ヘルプマークチラシ、障がい特性チラシ、大阪府コロナ関連手話ハンドブック、自主製品等)の配架。

門真市役所別館玄関ロビーで自主製品の販売、障がい疑似体験を実施。

■ 今後の方針 : 継続

■ 課題・改善点

引き続きより多くの市民への啓発活動を目指す。

■ 評価 : A (目標達成に向けて順調に進んでいる)

子育て支援課

取組項目 / 地域福祉の推進につながる情報の発信

取組内容 / 適切な福祉サービスを利用するためのさまざまな媒体を活用した情報発信

■ 取組状況

①門真で子育てをする家庭が受けられるサービス等をまとめた『かどま子育て支援マップ』を発行し、市内公共施設等で配布した。

②地域子育て支援センター「ひよこる～む」がTwitterで、イベント情報や子供と遊べる手遊び等の動画、市内各園のおたより(園から提供のあるものに限る)等を発信。

③民生委員の研修に子育て支援課職員が参加し、子育て支援事業について紹介を行った。

④市民プラザで行われたスポーツレクリエーションフェスティバルで、オレンジリボンキャンペーンの周知・啓発を行った。

■ 今後の方針 : 継続

■ 課題・改善点

②さまざまな子育て支援に関する情報収集を行うとともに、Twitterを用いて広く発信していく。

■ 評価 : A (目標達成に向けて順調に進んでいる)

基本目標 | 地域福祉のコミュニティづくり(人づくり・地域づくり)

基本施策2 地域で活躍する人づくり P46-47

福祉政策課

取組項目 / 地域福祉を担う人材の発掘・育成

取組内容 / 民生委員・児童委員の活動支援

■ 取組状況

新たに民生委員になってもらえる人を確保するため、市ホームページにて、民生委員の仕事内容や制度内容について正しい情報を提供するとともに、民生委員をやったよかったという仕事のやりがいや民生委員活動へのポジティブなイメージとなるように「現役民生委員の声」として公開した。

■ 今後の方針 : 継続

■ 課題・改善点

令和4年12月の一斉改選では欠員32名となった。全国的にも民生委員の担い手確保については課題となっているが、門真市においても担い手確保につながるよう、引き続きホームページや市役所内インフォメーションなどを利用した情報発信を継続する。

■ 評価 : B (取組が遅延している)

こども政策課

取組項目 / 気軽に集える場の創出(交流機会の拡大や社会参加支援)

取組内容 / 公民連携子どもの居場所「子どもLOBBY」の提供

■ 取組状況

令和4年度は子どもの居場所の時間帯に1,961人の来所があり認知度が向上してきているのが伺える。また、11名の不登校児童支援を行い、毎週日曜日に開催しているキャリア教育イベントは664名の受講があった。

■ 今後の方針 : 継続

■ 課題・改善点

水曜日を休館日としているが、水曜日は子どもの下校が早く、子どもLOBBYに来所したいとの意見が多いことから、休館日の変更を検討する。

■ 評価 : A (目標達成に向けて順調に進んでいる)

都市政策課

取組項目 / 気軽に集える場の創出(交流機会の拡大や社会参加支援)

取組内容 / エリアリノベーションによる地元企業や地域住民など多様な人々が出会い交流できる場の創出

■ 取組状況

企業や地元事業者等が参画する『エリアリノベーション推進会議』において、エリア価値向上のための事業推進を目的として、将来プレジジョンの検討や、エリアマネジメントの仕組みについて議論した。
また、8月には焚火を囲んで自分のやりたいことを語り合う『カドマノカマド』を開催。市営住宅横の旧駐車場を利用して「地域のなにかやりたい人たちがトライできる場所『トライアルパーク』」を開設。
『カドマノカマド』参加者:53名

■ 今後の方針 : 継続

■ 課題・改善点

将来的なエリマネ組織の自立的運営、地域プレイヤーが参画できる体制づくりを行うことが課題である。各プロジェクトの事業化・実装・空き家活用事業などのスモールエリア形成の推進もを行い、エリアへの期待値向上、新規プレイヤーの取り込み、ものづくり拠点事業化の検討を進めていく。

■ 評価 : A (目標達成に向けて順調に進んでいる)

基本目標 1 地域福祉のコミュニティづくり(人づくり・地域づくり)

基本施策3 地域福祉活動の促進 P48-49

福祉政策課

取組項目／団体への活動支援

取組内容／校区福祉委員による小地域ネットワーク活動の活動支援

■ 取組状況

市社協に小地域ネットワーク活動推進事業補助金を交付し、市内15地区の校区福祉委員会による住民主体の活動を展開することにより、高齢者や障がい者(児)、子育てに支援が必要な人等が安心して生活できるよう取り組んだ。

グループ援助活動参加者数 18,632名
個別援助活動参加者数 12,066名
認知症サポーター養成講座 3回 参加者数 56名
精神障がい者理解促進事業 2回 参加者数 21名
小地域ネットワーク活動リーダー研修会 1回 参加者数 11名

■ 今後の方針：継続

■ 課題・改善点

グループ援助活動参加者については、各校区での活動内容について再度検討したり、活動の周知方法を工夫するなどして新たな参加者の取り込みを図る必要があるため、引き続き事業実施団体である社会福祉協議会と連携し、積極的な活動を促していく。

個別援助活動については、現在、対象者が高齢者が大半であるため、障がい者や子育て中の親子などに対する活動についての情報提供を行うなど、多様な人が活動しやすい環境の整備に努める。

■ 評価：A (目標達成に向けて順調に進んでいる)

高齢福祉課

取組項目／ボランティア活動の推進

取組内容／認知症の方の生きがいある生活をめざす、「ゆめ伴プロジェクトin門真実行委員会」との協働による活動の推進

■ 取組状況

認知症の方の生きがいある生活をめざして、イベントや通いの場開催を行っている。

■ 今後の方針：継続

■ 課題・改善点

さらなる活動の推進をめざし、協働で活動する。

■ 評価：A (目標達成に向けて順調に進んでいる)

基本目標 1 地域福祉のコミュニティづくり(人づくり・地域づくり)

基本施策3 地域福祉活動の促進 P48-49

高齢福祉課

取組項目 / 身近な地域での見守り、支え合い活動の促進

取組内容 / 高齢者の見守りネットワークの推進

■ 取組状況

市内の企業と「見守りに関する協定」の締結を行い、支援が必要な高齢者を早期に発見し、支援につなげる見守り体制の強化を図ってきた。
令和5年3月31日時点で、22団体と本協定を締結。

■ 課題・改善点

協定締結企業との情報共有及び意見交換会の開催が定期的に行えていない。

■ 今後の方針 : 継続

■ 評価 : A (目標達成に向けて順調に進んでいる)

福祉政策課

取組項目 / 多様な主体による地域貢献活動の創出

取組内容 / コミュニティソーシャルワーカー(CSW)による地域課題の解決に向けた新たな活動の創出

■ 取組状況

8050問題やひきこもり、ひとり親家庭の親子など、さまざまな課題を抱えた要支援者に対し、課題整理や関係機関との連携による支援、引き継ぎ等、専門的な相談支援を行った。

また、ケース会議や地域福祉の担い手で構成する地域福祉連絡会を開催し、要支援者に対する見守り・相談・つなぎのセーフティネットづくりに努めた。

■ 課題・改善点

本事業の相談者の多くが生活費に関する相談などの生活困窮を背景とした課題を抱えており、本事業と同様に社会福祉協議会に委託している生活困窮者自立相談支援事業との連携を図ることで、要支援者の包括的な支援が可能となり、円滑な課題解決を図ることができた。

課題としては、医療や各種福祉サービスに繋がっていかず、病識をお持ちでない相談者への対応や、問題が複合化していて、CSWのみの関わりでは対応が困難な事例が発生しているため、関係機関と普段から顔の見える関係性をつくっていく必要性が高まっていることがある。

また、長引くコロナ禍の影響で、稼働年齢層からの相談が急増している。生活困窮に関する相談については、特に緊急性の高いものが多く、CSWに相談があった時点で相談者自身の力では改善が困難な状態になっていることが多く、従来の支援の枠組みだけでは対応できない状況が生まれてきている。

行政機関や医療機関などの関係機関等とのさらなる連携を図り、要支援者が必要とする支援を迅速に提供できる体制づくりを進めることで、課題解決に努める。

また、相談者に対し、より早い段階でCSWに相談してもらえるよう、本事業の周知をより一層充実させ、福祉のなんでも相談員としての認知度の向上を図ることで、より多くの市民に対する支援を行っていく。

加えて、地域の状況をよく把握している民生委員や校区福祉委員、地域会議や地域の子育てサロンといった社会資源等も含めて、地域のネットワークを強めていくことで、支援を必要とする人を少しでも早く把握できる環境づくりを進めていきたい。

■ 今後の方針 : 継続

■ 評価 : A (目標達成に向けて順調に進んでいる)

基本目標Ⅱ 包括的な支援体制づくり

基本施策4 組織横断的な支援体制の整備 P50-51

こども政策課

取組項目／相談対応力の向上

取組内容／各分野において相談者の悩みを包括的に受け止め、適切な支援につなげる(子どもの未来応援チーム)

■ 取組状況

子どもの貧困対策事業として、「子どもの未来応援ネットワーク事業」を平成29年10月から実施し、支援が必要な子ども等の発見から支援までトータルに対応できるネットワークを市民・企業等と構築している。令和4年度に新たに61世帯の支援に着手し、家庭環境の改善に取り組んでいる。

■ 課題・改善点

「子どもの未来応援団員」登録者数が1,500名を超え、情報誌で「子ども食堂」や「宿題カフェ」などの活動を周知したことにより、子どもの居場所で見守りを行う応援団員が増加したことで「子どもの未来応援チーム」に提供される情報も増加した。一方で、コロナ禍においては応援団員からの情報提供数が激減したことから、コロナ禍にも対応できる新たな情報収集方法が必要。

■ 今後の方針：継続

■ 評価：A (目標達成に向けて順調に進んでいる)

高齢福祉課

取組項目／相談対応力の向上

取組内容／各分野において相談者の悩みを包括的に受け止め、適切な支援につなげる(地域包括支援センター)

■ 取組状況

各地域包括支援センターで市民からの総合相談を実施。適切な窓口へのつなぎや、相談内容の解決を目指している。

■ 課題・改善点

多くの問題を抱えているケースが非常に多く、関係機関との連携が必要不可欠であるが、それぞれの関係機関が把握している情報を共有するのに手間がかかっている。

■ 今後の方針：継続

■ 評価：A (目標達成に向けて順調に進んでいる)

福祉政策課

取組項目／分野を超えた組織間連携

取組内容／既存サービスでは対応困難な課題を解決するため、新たなサービス・仕組みづくりを進めるためコミュニティソーシャルワーカー(CSW)が中心となり、関係機関と連携し取り組む(生活困窮者支援調整会議)

■ 取組状況

月1回調整会議を開催し、相談のあった生活困窮者の状況及び支援の方向性について、関係機関内で共有し、支援策の検討を行っている。令和4年度:12回開催。

■ 課題・改善点

相談者を適切な支援に繋がられるよう、多分野・多機関と顔の見える関係を築き、更なる関係機関との連携強化を図る。

■ 今後の方針：継続

■ 評価：A (目標達成に向けて順調に進んでいる)

基本目標Ⅱ 包括的な支援体制づくり

基本施策5 生きづらさを抱える人への支援 P52－53

福祉政策課

取組項目／生活困窮者への支援

取組内容／相談者の自立に向けた伴走型の支援・就労に不安がある人に向けた社会参加やカウンセリングによる段階的な就労支援

■ 取組状況

生活困窮者に対する総合的な相談窓口として「生活困窮者自立相談支援事業」を実施し、一人ひとりに合わせた支援計画を作成し、各種貸付や制度を利用しつつ、自立に向けた伴走型の支援を実施している。また、「就労準備支援事業」では、自力での就職が困難な方に対し、日常・社会的自立から就労までを一貫して支援している。

■ 今後の方針：継続

■ 課題・改善点

困窮している人が、経済的、精神的に追い詰められてしまう前に支援を受けられるよう、相談窓口の周知に努める必要がある。就労準備支援事業についても、利用者が増えるよう、周知に努める必要がある。

■ 評価：A（目標達成に向けて順調に進んでいる）

人権市民相談課

取組項目／さまざまな自立支援の促進(住まい・再犯防止)

取組内容／更生の意欲をもつ犯罪をした人等の立ち直りを支援

■ 取組状況

令和3年3月に策定した「門真市再犯防止推進計画」に基づき、令和5年2月に再犯防止推進検討委員会を開催し、取組状況の確認を行った。7月の社会を明るくする運動強調月間、再犯防止啓発月間において啓発活動を実施した。

■ 今後の方針：継続

■ 課題・改善点

更生の意欲をもつ犯罪をした人等の立ち直りに向けた支援をさらに進めていくために、庁内及び関係機関との連携をさらに強化し、啓発活動についても、引き続き実施する必要がある。

■ 評価：A（目標達成に向けて順調に進んでいる）

福祉政策課

取組項目／自殺防止の推進

取組内容／さまざまな場面で悩みを抱える人の自殺のサインに気づき適切な支援につなぐ 他

■ 取組状況

「門真市自殺対策計画」に基づき、自殺予防に関する施策を実施。門真市社協による役職員向け研修・傾聴ボランティア養成講座・地域力アップ研修会による人材育成を実施。市民相談事業(こころの相談)にて、心の健康に問題を持つ市民向けに臨床心理士による対面相談を実施。「こころのちのSOSガイドブック」を関係機関に広く配布。

■ 今後の方針：継続

■ 課題・改善点

長引くコロナ禍のなかで、令和2年度以降、全国的に自殺者数が高止まりしている傾向があり、更なる対策が求められている。自殺の要因は多岐に渡るため、誰も取り残されることのない社会づくりを進める観点で、全庁的な対応を促す啓発活動と、関係機関との連携を強化して、引き続き自殺を未然に防ぐ取組を進めていく必要がある。

■ 評価：B（取組が遅延している）

基本目標Ⅱ 包括的な支援体制づくり

基本施策6 権利擁護の推進 P54-57

人権市民相談課

取組項目／地域における相互理解の促進

取組内容／さまざまな人権課題の啓発

■ 取組状況

- ・人権啓発講座「ともに生きる」の開催。(7月、8月、11月、3月)
- ・12月の人権週間に、門真市人権協会及び門真市企業人権推進連絡会主催による「ひと・愛・コンサート」の開催に協力を行った。また、人権週間特集号を作成、広報折込による全世帯へ配布した。
- ・門真市人権協会及び人権擁護委員の活動に対し、補助金の交付を行った。

■ 今後の方針：継続

■ 課題・改善点

さまざまな人権課題に対し、門真市に住み、学び、働く人々や地域団体、事業者などが、それぞれの役割や責務を自覚し、主体的に行動する指針として作成した、「門真市第2次人権教育・人権啓発推進基本計画」を活用し、各種人権に配慮した行政の推進に取り組むべく、引き続き、啓発活動や人権研修等の開催を行うなかで、新たにSNSを活用した啓発方法を検討するなど、より多くの人に啓発する方法を検討する。

また、関係機関と連携し、引き続き人権意識の向上に努めていく。

■ 評価：A (目標達成に向けて順調に進んでいる)

障がい福祉課

取組項目／虐待の早期発見・対応

取組内容／障がい者虐待に関する相談窓口の設置など、早期発見・早期解消・虐待再発防止の取組

■ 取組状況

市町村が虐待防止の主たる担い手となり、本市においても、門真市障がい者基幹相談支援センターを障がい者虐待の早期発見や対応を担う機関(門真市障がい者虐待防止センター)として位置づけている。令和4年度の虐待相談実件数は28件となり、この内10件が虐待認定され、残りの18件が虐待の事実が確認されない、もしくは判断に至らずとなっている。

■ 今後の方針：継続

■ 課題・改善点

虐待認定されたケースだけでなく、認定されなかったケースも通報に至るまでの何かしらの原因があるため、多くのケースは基幹相談支援センターや各支援機関によるフォロー体制が構築できている。引き続きフォロー体制の構築を継続していく。

■ 評価：A (目標達成に向けて順調に進んでいる)

門真市社会福祉協議会

取組項目／判断能力が十分でない人への支援

取組内容／社会福祉協議会の日常生活自立支援事業(金銭管理)の周知及び利用促進

■ 取組状況

68人の利用者と契約を締結し、金銭管理サービスを含む福祉サービスの利用援助を行った。また、生活費を届ける支援は2,484回を数え、定期的な生活費を手渡すことで生活の安定を図った。

■ 今後の方針：継続

■ 課題・改善点

利用者の死亡や転居等により13件の解約が発生したが、19件の新規契約を行ったため、利用者数は純増した。利用者の増加に対応した支援体制と新規相談を受け付ける体制づくりに努めている。

■ 評価：A (目標達成に向けて順調に進んでいる)

基本目標Ⅲ 安心・安全に地域で生活できるまちづくり

基本施策7 災害時の安心・安全の仕組みづくり P58－59

危機管理課

取組項目／災害への備えや支援

取組内容／防災訓練や防災講話などを通じた防災に関する意識向上、各種啓発

■ 取組状況

市広報紙に防災に関する記事を掲載し、防災意識の向上を図るとともに、市総合防災訓練を実施した他、校区、自治会、地域団体、事業者などにおいて、防災講話や防災訓練を通じて各種啓発を実施した。

■ 課題・改善点

市全域で幅広く防災意識が向上するよう、規模の大きな防災訓練や防災講話が実施される状況にしていきたい。

■ 今後の方針：継続

■ 評価：A（目標達成に向けて順調に進んでいる）

危機管理課

取組項目／避難行動要支援者の支援

取組内容／高齢者、障がい者などの支援が必要な人が円滑に避難するための方策の検討

■ 取組状況

防災講話や防災訓練を通じて自助の重要性など各種啓発を実施するとともに、要配慮者が利用するよう配慮者利用施設への避難確保計画について、作成を促した。

■ 課題・改善点

継続して要配慮者に対し、自助を始めとした各種啓発を実施し、防災意識の向上を目指す。また、避難確保計画に基づく避難訓練について、要配慮者利用施設での防災講話等活用し、施設職員、利用者へ啓発していく。

■ 今後の方針：継続

■ 評価：A（目標達成に向けて順調に進んでいる）

基本目標Ⅲ 安心・安全に地域で生活できるまちづくり

基本施策8 すべての人にやさしいまちづくり P60-61

ICT推進課

取組項目／快適で利用しやすい生活環境の整備

取組内容／ICTを活用し、さまざまな行政サービスを気軽に受けられる環境の整備

■ 取組状況

公式LINEアカウント情報配信サービス事業(新型コロナ対策)を実施し、スマートフォン利用者を中心に、市民が必要とする情報を効果的かつ効率的に届けるとともに、窓口予約、道路の不具合通報など、生活の向上に関わる様々なサービスをオンライン上で提供することで市民の利便性及び業務の効率化を図った。
また、コンビニ交付サービスの対象証明書に、課税・所得証明書を追加した。

■ 今後の方針：継続

■ 課題・改善点

- ・利用者数(友だち登録者数)を増やすための広報活動
- ・デジタルに不慣れな方でも利用していただけるような分かりやすい仕組みづくり
- ・市民が本当に必要としている情報の把握、効果的な発信
- ・オンライン申請可能手続きの拡充や、更なるLINE機能拡張による市民の利便性の向上

■ 評価：A (目標達成に向けて順調に進んでいる)

都市政策課

取組項目／快適で利用しやすい生活環境の整備

取組内容／空家等対策の推進

■ 取組状況

- ・空家等対策計画に基づき令和4年度門真市空家等対策協議会を開催し、計画の進捗状況及び今後の取組み内容等について報告した。
- ・令和5年3月19日に空家セミナーを開催した。
- ・「門真市における空家等対策に関する協定」に基づいたマッチング制度により、2件契約が成立した。
- ・門真市空き家等除却補助制度を改正した。門真市隣接地等取得補助制度並びに門真市子育て世帯等空き家利活用補助制度を創設した。

■ 今後の方針：継続

■ 課題・改善点

- ・門真市空き家等除却補助制度、門真市隣接地等取得補助制度並びに門真市子育て世帯等空き家利活用補助制度における活用実績がなかったため、今後補助要件などの見直しを行う。

■ 評価：A (目標達成に向けて順調に進んでいる)

危機管理課

取組項目／防犯活動の促進

取組内容／防犯に関する意識啓発、防犯カメラの設置

■ 取組状況

防犯カメラの増設(令和4年度50基)及び自治会設置のLED型防犯灯の設置補助を実施し、地域の安全安心なまちづくりへの取組みを実施した。
また、防犯キャンペーンを市内小学校にて年3回実施し、防犯意識に対して啓発活動を行った。

■ 今後の方針：継続

■ 課題・改善点

防犯カメラの増設及び自治会設置のLED型防犯灯設置補助を実施しているものの、感染症対策の緩和などに伴う人流の増加によるものか、刑法犯罪認知件数が増加しているため、新たな意識啓発活動が課題である。

■ 評価：A (目標達成に向けて順調に進んでいる)